

市川市長 千葉光行様

浦安市川市民病院は「早く建て替え」「常勤医師を増やして」 誰でも安心して利用できる市民病院に

浦安市と市川市の市境にある浦安市川市民病院は、両市による公立病院です。老朽化で建て替えることは決まっていますが、民営化問題がからんで具体化がすすんでいません。日本共産党の谷藤利子は安全な施設と医師の確保で地域に信頼される病院づくりに力を入れています。

行徳・浦安地域で唯一の公立病院

公立病院は住民の命と健康を守ることを第一に運営され、救急医療、小児科など民間医療機関だけでは果たせない大切な役割を担っています。浦安市川市民病院は行徳・浦安地域で唯一の公立病院です。住民集会では、「いつでも安心して利用できる公立病院が一つは必要」との声が強く寄せられました。

日本共産党が行なったアンケートにも、「医者の交代を少なくして欲しい」「施設をきれいに建替えて早くいい病院にして欲しい」など、公的病院への期待がたくさん寄せられています。問題は老朽化した施設と医師の不足による受け入れ体制の弱さです。

安全な施設と医療の充実を早急に

日本共産党の谷藤利子はこれまで住民の声を聞きながら、病院議会で、誰でも安心して利用できる公立病院の役割と医療内容の充実を求めてきました。また、2月15日には、改めて市長に申し入れを行いました。

一日も早く新しい施設に建て替え、医師の確保に最大の力を入れ、小児科・産科・高齢者医療・地域医療・救急の受け入れ充実のため、これからもがんばります。みなさんの署名のご協力をお願いいたします。



市民から意見をお聞きする住民集会の開催

市民の声とりあげ実現した主な施策

- リハビリの充実
- トイレの改修
- 土曜診療の拡大
- 待ち時間短縮システムの導入
- ホームページ、市民病院だよりなどの市民への情報拡充
- 待合室のプライバシー確保
- 売店を異動改築で改善
- 図書館の院内分室設置
- 在宅（訪問）医療の拡大

きりとり

要望事項
一、安全で機能的な施設に早期に建替えること
二、公立病院として存続し、医療内容の充実を計ること

名前	住所	電話

ご連絡いただければ伺います。



谷藤利子

浦安市川市民病院議員
市川市議会議員



市川民報 07年4月
発行：日本共産党市川市委員会
行徳事務所 359-8380